

概要

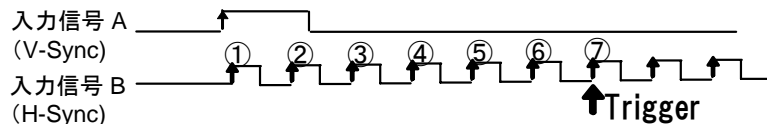
アナログ信号RGB3チャンネルと、水平同期／垂直同期信号の2つのタイミング信号を同時に測定します。DLM2000では、CH4のアナログ入力は「ハイブリッドチャンネル」として、ロジック8bit入りに切り替えて使えます。V/H同期信号のようなタイミング信号や制御信号を含む多チャンネルの測定には、DLM2000のハイブリッドチャンネルが便利です。

DLM2000シリーズのTVトリガ

- ・標準規格: NTSC、PAL
- ・SDTV: 480/60p
- ・HDTV: 1080/60i、1080/50i、720/60p、1080/25p、1080/24p、1080/24sF、1080/60p

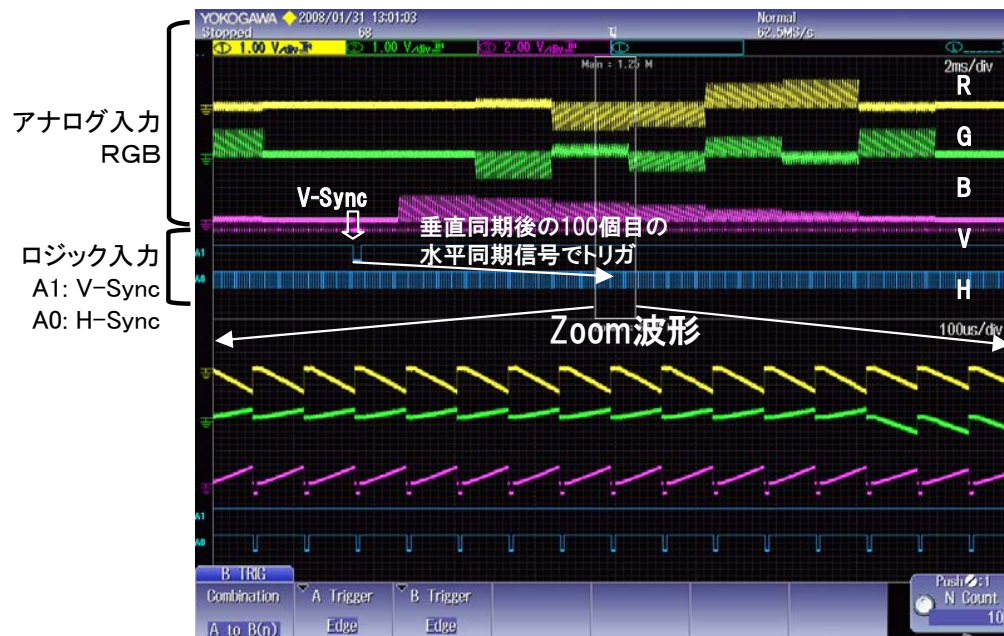
V-Sync、H-Sync信号での組み合わせトリガ -A to B(n)トリガ-

2信号の組み合わせで、トリガをかけられます。垂直同期の信号(A)を検出してから、指定個数目の信号(B(n))のエッジでトリガをかけることができます。ロジック入力タイミングをずらして測定するのに有効です。



DLM2000の有効性

- 4chオシロスコープで、R・G・B/V・H-Syncの5チャンネルを測定
 - ・4chアナログ⇔3chアナログ & ロジック8bit (ハイブリッドチャンネル)
- 豊富なトリガ機能、HDTVトリガも標準装備
 - ・NTSC、PAL、SDTV、HDTV (TVトリガは標準装備)
 - ・“A to B(n)”トリガによる、V/H-Sync信号での組合せトリガ
- ロングメモリによる長時間測定 (/M2オプション搭載時)
 - 最大125Mポイントのロングメモリを登録可能。125MS/sの高速サンプルでも1秒間の映像信号を捕捉できます。



アナログRGB信号と垂直同期・水平同期信号の同時観測例

垂直同期後の100ライン目の水平同期信号でトリガ

100